

蔵増北青壮年会だより

発行 第44号

平成17年12月20日

そらねん



発行人会長 今田 光一
編集委員長 秋保 栄
編集 機関紙編集委員会



遺跡発掘で確認された栗材を用い、建築が進む住居跡 平成17年10月27日撮影

いま蘇る 1400年前

先人の 暮らしと文化

- 西沼田遺跡復元が本格化 -

わたしたちの古里は、今も昔も「いなほ（稲穂）の里」。
聖徳太子が活躍していた古墳時代（西暦六百年前後）、西沼田では、すでに稲作農業を始めており、それを主として集落をつくって生活していました。
この時代の集落の様子や、人の暮らしを知ることができるものは少なく、「西沼田遺跡」は東北地方でも貴重な歴史的遺産として評価されています。
本格的な復元作業が目に見えてきました。平成二十年度の完成に向け、遠い昔の風景再現を地域の活性化にどう結びつけ、私達がどう関わっていくのか、みんなで語り合っていきたいものです。

参加意識の高まりが地域を活かす 第一回生涯学習フェスティバル開催

11月20日

十一月二十日、パルテにおいて第一回天童市生涯学習フェスティバルが開催されました。

約三百名の一般市民の参加があり、「生涯学習を進め、いきいきとした地域社会をつくろう」をスローガンに掲げ、表彰、基調講演、パネルディスカッションが行われました。



楯悟朗さん、18年間地域のために本当に御苦労さまでした。

はじめに表彰が行われ、天童市長から、十八年間の永きにわたり市立蔵増公民館長として活躍されました楯悟朗さんに表彰状の贈呈が行われました。

続いて、東北芸術工科大学の片桐隆嗣教授から「地域づくりの視線」という演題で次のような講演がありました。

合理一辺倒ではない社会を

「合理性の非合理的基礎」何とも難しい社会学用語のようですが、要するに、「合理一辺倒では社会は成り立たない」ということ。利益につながるが、私だけ？ では

分科会にて

続いて「団体活動分科会」の事例発表とパネルディスカッションには約一五〇名が参加し、北青壮年会のほか、荒谷と天童北部の婦人

会、千布青壮年会の代表が活動事例を紹介しました。

特に婦人会については、一所懸命なボランティア活動をしながらも、会員減少の課題などを抱えており、地域のみなさんの理解と協力が欠かせない、と訴えておりました。

高い評価を受けた北青壮年会の活動

北青壮年会からは副会長秋保栄さんが、「心かよう地域づくりを目指して」とのプレゼンテーションを行いました。

昭和五十四年に設立した北壮年会の生い立ちや、各クラブ活動発足時のエピソードなどを紹介し、また、北青壮年会の特筆すべき取り組みである機関紙「そうねん」の発行については、歴代編集委員長の対談記事を特集しました。「そうねん



最も大切なことは、「青年世代にも地域づくりへの参加意識を高めてもらうこと」と、メッセージを発信。

第四十号」を会場の全員に配布し、人と人との交流の大切さ、広報を通して会員の顔が見え、地域の中で親しみも増してくる、と力説しました。

北青壮年会がこれまで培ってきた交流や部活動などをアピールできましたが、最も大切なことは、これから新たな時代へ入っていく中で、青年世代にも参加意識を高めてもらえる仕組みについて真剣に取り組みしなければならぬと思われました。

(常任委員 森山美典)

男年ばれんわん 夢の春新年



子どもの成長が楽しみ

北二区 秋保 秀弘
(昭和45年生まれ)

一昨年の夏、神奈川県から家族四人、天童に戻ってきました。こちらは冬は寒く雪が積もりますが、子ども達は雪遊びを楽しみにしています。スキー場が近くにあるので、今年も子ども達をスキーに連れて行きた

いと思っています。

上の子は幼稚園に通うようになり、いつの間にかお姉ちゃんぶりを発揮し、弟の面倒を見ています。最近下の子が「幼稚園に行きたい、行きたい。」と言って、毎日お姉ちゃんを見送っています。二人とも幼稚園に行き、友達と仲良く遊んで欲しいと思います。

昨年、青壮年会に入会しましたが、仕事の帰りが遅く、できる限り都合を付けて参加したいと思います。今までは地域のことは親任せでも分らず過ごしてきましたが、これからは少しずつ参加していきたいと心掛けています。

夢はズバリ「やせろ」

北三区 渡辺 芳弘
(昭和45年生まれ)

今年、年男三十六歳になる私の夢は、ズバリ、「やせろ」です。最近ちよつと太ってきて昔のズボンが履け



なくなつてしまい、悲しい想いをしているので、今年はやせることを第一の目標にしたいです。

第二は、「映画館で映画を観まくれ」です。結婚してから、もっぱらビデオなので、今年は、映画館に行つて、話題作でない作品を中心に、月二回ペースで観たいです。

最後に今年は、ぜひ青壮年会のどれかのクラブに所属して、皆さんと益々親睦を図っていききたいと思えますので、これからも、呑むと「やちやない」男ですが、よろしくお願いします。

新年の夢

北三区 渡辺 勉
(昭和45年生まれ)

早いもので三度目の年男を迎えます。「新年の夢」の題目で原稿依頼を受けましたが、大きな夢など無いのが現状です。同年代の経営者が世の中を騒がせていますが、そんなことを出来るわけもなく、ただ羨ましくテレビを見ています。

現実として、仕事面では、中堅としてリーダーシップ、企画力をもっと身につけたと思います。地区では、今年度からKSCを仰せつかってはいますが、皆様にお世話になつてばかりなので、しっかりとがんばらなければと思います。

また、今年も子どもたちの成長を楽しみにしながら健康で楽しい生活を送りたいと思います。皆様方も良き年でありますよう、お祈り申し上げます。



子どもと過ごす時間

北三区 佐藤 伸一
(昭和33年生まれ)

今年は何となくということですが、特別な思いはありません。

六年ほど前、上の娘が生まれた時をきっかけに、現在の損害保険会社に勤務するようになりましたが、ほとんど仕事のための毎日です。家族や友人と過ごす時間も少なく、時々これで本当に良かったのかと思うこともあります。

年齢的には四十七歳で、フットワークが若い頃よりは鈍くなりましたが、子ども達との日々の生活の中で、父親としての新しい発見があり、今年が親子での共通体験をもっと増やしたいと思っています。





一気にフ〜ン 大旋廻 突っ走れ〜



新メニュー フランクフルト ほっぺたおちるよ〜

笑顔いっぱい 05' あの 場面

グランドゴルフ大会 (7月3日)
みんなでピアパーティー (8月6日)
北区夏まつり・盆踊り大会 (8月7日)
地区レクリエーション大会 (8月28日)
地区文化祭 (10月29~30日)・駅伝大会 (11月6日)



うあ! 脱水症状にならないよう水分補給中デスヨ



さあ、練習の時のように、みんなで、ソ〜レ



みんなで踊って、賑やかな夏祭りの一夜に



行け〜、空飛ぶように、ごぼう抜き



呼吸ピッタリ、さあ、引き離せ〜



この優勝旗返したくないなあ… (渡辺館長)

第一線の走り博明さん。筆を
持てば無鑑査・まさに文武両道



千穂ちゃん今回はアンカー
立派に役目を果たしました



みんなの走りは速く
美しく、そして清々しい



ばんざ〜い 日々努力の積み重ね
おめでとう博明さん

いきいき
あの
感動

第26回蔵増分館対抗駅伝大会
平成17年11月6日
タスキをつないだランナー

- | | |
|---------|---------|
| 1区 山崎 悟 | 6区 鈴木健司 |
| 2区 岩月 和 | 7区 土屋博明 |
| 3区 早坂和彦 | 8区 和田友幸 |
| 4区 岩月成人 | 9区 土屋千穂 |
| 5区 土屋安尚 | (敬称略) |



聴き惚れる、その歌声に、大きな拍手



哀愁の歌声、さすが東北グランプリ
五十嵐正男さん(盆踊り H17.8.7)



辿りついたオアシス、う、うまい最高
大物忌神社にて(鳥海山 H17.7.9)



今日は黒伏山
雲の上で、悟りを開くゾ (H17.7.24)



ソフト部初参戦
あーだ、こーだと楽しんだGゴルフ大会

将棋と山の幸

将棋部大井沢研修

十月中旬、キノコ料理を囲んだ五名のグループがいた。これは、将棋クラブ恒例の一泊練成の一コマです。十五日午後、北公園を出発し、一路大井沢の温泉を目指しました。

「ゆつたり館」に入浴後、宿泊場所である民宿に入り、早速五人による総当りのリーグ戦を行いました。

真剣勝負で疲れきった体をほぐしてくれたのは、テール一面に並んだキノコ料理と本当に熱い熱燗でした。思う存分秋の味覚を満喫しました。

部屋に戻ってからも、酒



「将棋と酒と秋の味覚」3セットを満喫

を片手に夜遅くまで将棋を指し日頃のストレスを発散しました。(将棋部 森山美典)

堂々の選手宣誓 第31回市連合ソフト



七月十日北チームは第一ブロックの一番を引いてしまい、選手宣誓を行うことになり、何とも大変な大会になってしまいました。

初戦不戦勝。二回戦立宿Bチームと対戦し0対7、三回コールド負け。誠に残念な結果に終わりました。反省会では、気分一新焼肉とビールで懇親を図り、大いに盛り上がりました。来期も優勝という目標を掲げガンバリます。

(ソフト部 鈴木光芳)

おめでとう無鑑査合格

書道部長 土屋晃竹(博明)さん

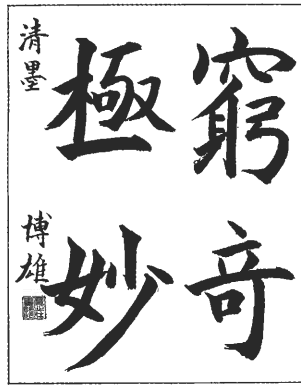
9月の東邦書道会昇級試験で博明さんが見事、最高位の無鑑査に合格されました。誠におめでとうございます。

受験にあたり、日々書道部全体の面倒も見て、また自分の練習と、大変ご苦労されたことと思います。これからも益々の飛躍をお祈りします。(書道部 佐藤俊彦)



わたしの作品

《佐藤博雄さん揮毫》



「窮奇極妙」

めずらしいことを窮めて、そこからすくれていることをつきとめる。

書道部に入つて五年目になります。なかなか上達しないので、時々やめようかなと思うときもありすが、妻から「前より上手になった」と褒められ、その気になつて続けています。入部する気になつたのは、慶事や仏事などの熨斗袋の筆字が下手で、受け取つた方が気の毒になるくらい悪筆だったからで、上手にはならなくても、普通くらいにはなりたいたいと思つたからです。

前を書いたが、うまく書けなくてその時はもつと練習しなくてはと思うのですが、仕事で忙しいことを言い訳になり、今日までできてしまつたような状態です。生来、のんびりで三日坊主的な性格なので、何事も中途半端な結果に終わることばかり多かつたのですが、五年間は良く続いた方だと思えます。青壮年会の中でも最年長なのですが、もう少し仲間に入れてもらいたい、ガンバツてみたいと思つています。

第33回話め将棋

将棋部があなたに挑戦

持ち駒 飛金

7	6	5	4	3	2	1	
				角		銀	一
			卒		王		二
			卒				三
							四
							五
						歩	六
							七

ヒント
打った飛の処理が面白いので、五分で三級(七手詰め)

編集委員

委員長：秋保栄 ・常任委員：森山美典、今田仁志、東海林隆 ・区選出委員：1区 土屋政美、2区 土屋忠幸、3区 土屋博明
部選出委員：ソフト部 鈴木光芳、将棋部(兼) 森山美典、麻雀部 山崎稔、書道部 佐藤俊彦、写真部 大木富雄、野山会 佐藤春彦

この人



常也さんは、会員から常さんのニックネームで親しまれ、いつも笑顔が良く似合う人です。

実家は窪野目で、約二十年前に現在の所に自宅を構えました。北地区は、小学校や中学校の時の通学路になっていたので、当時のことを思い浮かべると本当に懐かしく思うそうです。移り住んで、「地域の人の優しさがとても印象的で、全然知らない土地ではなかったが、人と人のふれあいが地域をつくり上げていくんだなと感じた。」と話してくれました。

趣味は、読書、将棋、山登り、そしてビールを飲むことだそうです。将棋がとて好きだったことから青

地域の友人と 一生の付き合いを

壮年会に入会して、すぐに将棋部に入部。恒例の大井沢一泊研修は毎回楽しみにしているとのこと。山登りは十年くらい前から磐梯山や栗駒山などに友人と登ったことがあり、青壮年会でそのことを話題にし、今の「野山を歩こう会」が出来たきっかけの一つになったとか。

最近始めたのが、野菜づくりで、三区の某Aさんの畑を借り、また、某Bさんの指導を受けながら茄子や長芋の栽培に挑戦。除草はまめにやっているが、残念ながら隣の畑より成育が悪いそうです。

「本人の努力が足りなかったのか、指導者のアドバイスを良く聞いていなかったのか、定かではない」と洩らしていました。

(聞き手 土屋博明)

熊澤 常也 さん
北3区 昭和26年生まれ

飲みや 語れや 爽快ビアパロケイロ

夏真っ盛り。八月六日、北青壮年会ビアパーティーが三十名程の会員を集めて開催された。

昨年よりの新事業で当日は二区会員のお世話で、盆踊り大会の前夜祭も兼ねての開催であった。用意された生ビールは60リットル。飲みや語れや、語れや飲めや。あつという間に完売！某幹事曰く「なんでみんなコダエ飲むの。ビールなえじえあ。」幹事の皆さん、ごちそう様でした。野外での生ビール、とつてもまいう！

皆さんの明日からのエネルギーになったことは疑いもない。(二区委員土屋政美)



まいう～！ あられる笑顔と乾杯の声

ソフト部 競戦 グランドゴルフ

七月三日、梅雨晴れの空のもと、第6回大会が蔵増小Gで開催され、熊澤義也公民館長が「年々青壮年会員が少なくなっていく中で、こういう機会に集い、親睦を深めることに感謝したい」とあいさつ。

五チームが参加し北からはソフト部選抜のAチームと一般会員のBチームが参加。側溝にぶつかって跳ね返ったり散々。いつそのこと直接狙わず二段階攻撃。それでもうまくいかず到大爆笑。結果は、さすがバットを持ち慣れたAチームが213打で第三位。

個人戦もソフト部の土屋政美さんが準優勝と健闘しました。(ソフト部 鈴木光彦)

- ☆第33回話め将棋の回答
- ▲2二飛 △1四玉
- ▲2四銀成 △同 桂
- ▲1二飛成 △同 角
- ▲1三金 まで七手詰め

あともかき

▽暑かった夏もあつという間に過ぎ去り、気がつくともう雪を迎える季節となりました。

皆さんはもう冬の準備は済みましたか。私はまだ終わっていません。とてもあせっています。今回の会報が渡るころには安心して過ごせるようでありたいと思っています。

雪よ、まだ降らないでくれ。(常任委員 今田正志) 久しぶりにあどがきの順番がまわってきました。調べてみると実に五年ぶりになります。

さて、今年は皆さんにとってどんな一年でしたか？今年が西年。私事になりますが「立つ鳥後を濁さず」ということわざがあるように、今年あったいろいろな出来事。つらい事、いやな事、悲しい事など、自分の気持ちを整理して、また、新しい年を迎えたいなあ、と思う今日この頃です。

(常任委員 東海林隆)

表紙題字 書道部長 土屋寛行(博明) 書

これからの行事予定

- ・平成 18 年 1 月 22 日 (日) 北区新春麻雀大会 (北公民館) ・ 1 月 29 日 (日) 蔵増地区青壮年会タスポニ大会 (蔵小体育館)
- ・ 2 月 5 日 (日) 蔵増地区冬季レクリエーション大会 (蔵小体育館) ・ 2 月 11 日 (土) 北区新春将棋大会 (北公民館)
- ・ 2 月 19 日 (日) 市連合青壮年会ポウリング大会、将棋大会 ・ 2 月 26 日 (日) 北青壮年会平成 17 年度総会 (北公民館)